



●『日焼け』の仕組み

- ・肌の日焼けの原因となる紫外線を浴びる。
- ⇒肌の内部で黒い色素であるメラニンが大量に作られる。
- ・メラニンは紫外線を吸収して真皮への侵入を防ぎ、ダメージから肌を守る。
- ・紫外線を浴びた皮フを守る反応としてメラニンが増えるため皮フが黒くなる。



●太陽にはできるだけ当たらない方がよいのでしょうか？

■日光の効能

- ・ビタミンDを生成→紫外線を浴びることで体内で生成される。カルシウムの吸収を促し、骨格を健康に維持。
- ・セロトニンの分泌→精神の安定や自律神経のコントロールなどに大きな役割を持つ。



●日焼け止めの種類



①SPFとPA

・SPF(UVBカット効果)

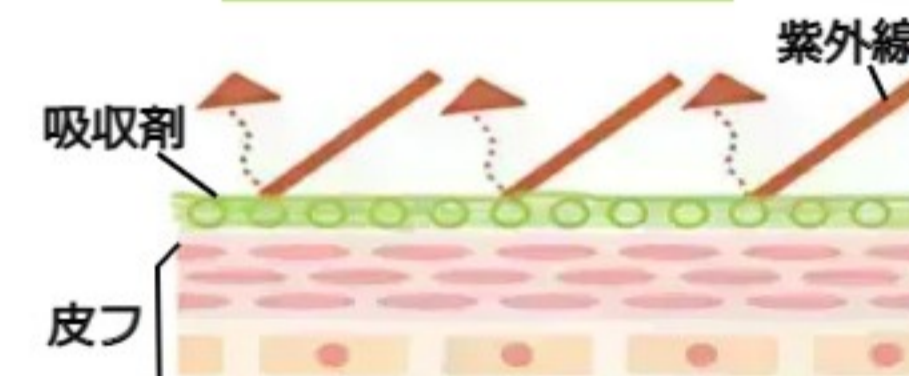
SPF値は一度塗った日焼け止めが、どのくらいの時間効果があるのかを示す。
※SPF1=20分間(SPF20なら400分間)、SPF50以上は50⁺と(+)⁺がつく。

・PA(UVAカット効果)

PA⁺の(+)⁺で表されるのが強さでPA⁺⁺⁺⁺(4プラス)が最強。
UVAは雲やガラスも通過するので曇りの日や室内でも塗ると良い。

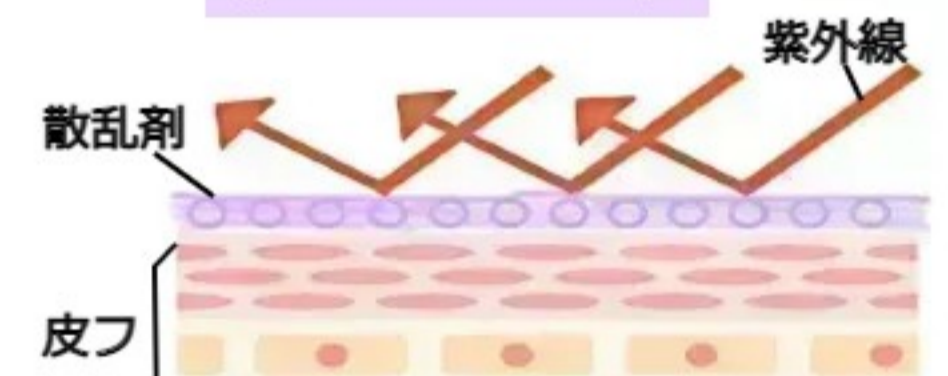
②紫外線吸収剤(ケミカル)と紫外線散乱剤(ノンケミカル)

紫外線吸収剤(ケミカル)



紫外線を吸収し熱や赤外線などのエネルギーに変化させて放出させる。
⇒肌に刺激を感じることも...

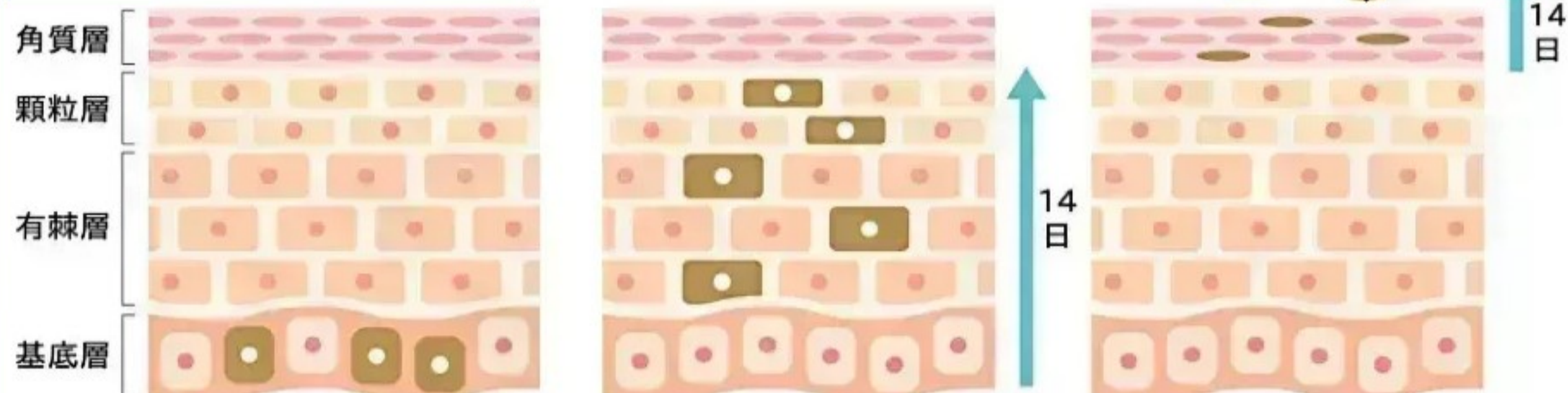
紫外線散乱剤(ノンケミカル)



紫外線を反射、散乱させて皮フを守る。
⇒白色の無機粉末を使用しているため、白っぽくなることもある。

※ターンオーバー
肌の細胞が一定の周期で生まれ変わる仕組み

ターンオーバーのしくみ

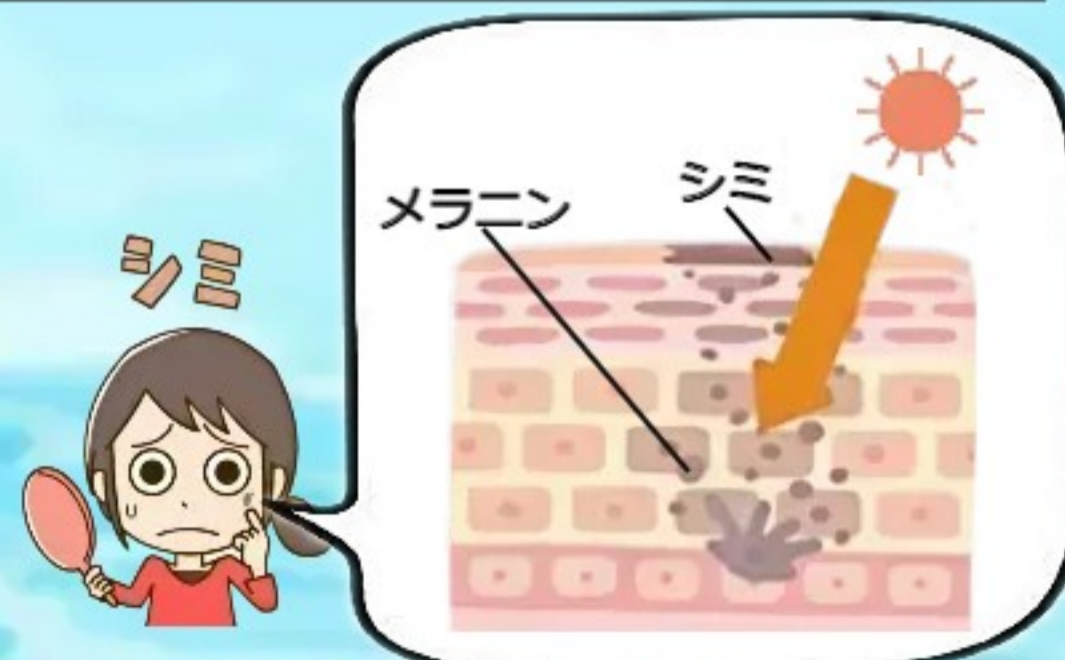


- 1 基底層で細胞が作られる
 - 2 角質層に押し上げられる
 - 3 アカとなりはがれ落ちる
- お肌のターンオーバーにより、メラニンは垢と一緒にはがれ落ちる。
⇒通常の日焼けなら1ヶ月程で消えていく。

長時間もしくは強力な紫外線を浴びるとメラニンの生成が活発に

ターンオーバーのサイクルが乱れると大量のメラニンが排出されず、肌内部に滞留

『シミ』になる!



●紫外線には種類があります

- ・UVA ...波長が長く雲やガラス、衣類も通過する
(紫外線A波) 肌の奥深くに入っていく、ゆっくりとシミやしわの原因となる。
- ・UVB ...波長が短くエネルギーが強い。
(紫外線B波) 肌の浅いところに急激なダメージを与える。
日焼けによる炎症やメラニン色素の沈着を引き起こす。

SPF50⁺
PA⁺⁺⁺⁺



ノブUVシールドEX
(クリームタイプ)

- ・のびがよく、なめらかな使い心地
- ・紫外線をしっかりカット
- ・汗・水に強い

ウォーターブルーフ

SPF32
PA⁺⁺⁺



ノブUVミルクEX
(ミルクタイプ)

- ・みずみずしい使い心地
- ・落としやすい全身にも使いやすい

お湯でも落とせる

【次回予告】

○○○○○○○○ 2022年10月発行予定